

授業改善書

科目名	英語Ⅱ（月1・月2・水2・金2）（一括して）
担当者	熊田 和典

授業の概要

この授業改善書には、私が今期担当した4クラス（4学科）の英語Ⅱについてまとめて書くことにする。春期に行った英語Ⅰと同一の受講生に対して、英語Ⅰから継続して行ったこの英語Ⅱは、大学にて英語を学習する基礎力を総合的に養うことを目的とした科目である。これまで学習してきた英語の力をもう一度確認しながら、英語の基礎力をさらに伸ばすことを念頭に置いている。担当した英語Ⅱの4クラスはすべて学科が異なり、すべて英語を苦手とする学生対象のクラスである。

授業の問題点

春期の英語Ⅰでは、学習効果を狙って予習復習の重要性を強調し、特に予習をしていない人には注意したことが、結果的には一その学生への伝え方が悪かったのか一学生によっては学習意欲を削ぐといった逆の効果を生んでしまったことが授業アンケートで判明した。このことが授業アンケート全般に影響していると考えられた。これを受けて、この英語Ⅱの最大の課題は、学生との人間関係をあらたに築き上げ、彼らの学習意欲をどう向上させるのかということであった。その他、英語Ⅰとの関連においての問題点には、英語Ⅰでは例年よりも多かった私語を少なくできるかという問題もあった。

その他、問題点としては、受講生には英語が苦手な学生が多く、授業アンケートに見られるように、授業内容に興味や関心が思ったよりも高くないことである。

学生の授業満足度

授業アンケートの数値を見る限り水曜日2限、金曜日2限のクラスは、その他のクラスと較べると、うまくいっているように思われるが、特に月曜日2限のクラスにはもっと数値を上げる、つまりもっと学生の満足度を上げるようにしていく必要がある。

授業改善の課題と方策

上記の「授業の問題点」の冒頭で述べたことに関して言えば、学生への接し方を例年通りに戻して授業を行った結果、英語Ⅱの4クラス全体にわたって改善できているのではないかと思われる。「学生による主な意見」にも、その点を示唆したコメントは見受けられない。来年度も担当する英語Ⅰにおいてはこの点に気をつけていきたい。

さらに、英語Ⅰ全般において例年よりも私語が目立ったが、受講生の協力もあり、この英語Ⅱでは私語が少なくなり、受講生が集中して勉強に励むことができるようになったのはよいことだと思う。

受講生の授業内容に興味や関心が思ったよりも高くないこと（特に月曜日2限）に対しては、日常生活において日本語で使っている英語、和製英語と比較したり、英語の必要性が近年増していることを話したりするなど工夫はしているが、なかなかうまくいかないものである。難問であるが故に、今結論を出さずにこれからもっと効果的な策を春休み中に考えた上で、来年度の授業に臨みたいと思っている。

その他